

令和8年第2回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	村上 治	7	荒谷 敏
2	金子 透	8	長谷川る美
3	青柳 信義	9	畠山 由美
4	須藤 義	10	佐藤 浩崇
5	渡邊 俊一	11	浅野 直子
6	出川 博一	12	塩田 智明

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	5月28日(木)
受付時間	8:39

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 17 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	村上 治
質問方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 クマ対策の現状と今後について

【質問要旨】－簡明に－

昨年、県内で初めてクマによる人的被害が本市で発生しました。また、山間地域のみならず市街地近くでのクマ目撃情報が数多く寄せられました。これに対し、本市では、クマ対策本部を立ち上げ「富谷市クマ緊急対策パッケージ(3, 570万円)」を策定、誘引樹木の伐採、箱ワナの追加購入及び設置、公共緑地・河川敷の刈り払い等を迅速、的確に行い、市民の安心安全に寄与しました。また、本年度早々には、市内小中学校の全児童生徒に対しクマよけ鈴が配付されました。

県では、4月19日から県内全域に「クマ出没警報」が発令され、当初の5月18日から6月18日までに延長されました。県によると、今年4月から5月26日までのクマ出没件数は、386件で、昨年4～5月の2カ月間の137件を大きく上回っており「クマ出没特別警報」を発令するか見極めるとの新聞報道もあります。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 これまでのクマ対策の進捗状況について。
 - ① 令和7年度の進捗(実績)及び評価は。
 - ② 令和8年度の進捗(実績)は。
- 2 今後のクマ対策について
- 3 教育委員会との連携について

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	5月28日(木)
受付時間	9:05

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 11 番 金子 透

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	金子 透
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 質問件名 小学校の卒業式について

【質問要旨】－簡明に－

本年3月、富谷小学校の卒業式へ出席しました。ほとんどの女子児童は袴姿でした。だいぶ前から思っていたのですが、このようなあり方で良いのでしょうか。学校とは教育と学びの場です。卒業式は授業の一環と考えれば現在のようなあり方は不適切と考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 現在の卒業式のあり方をどのように考えますか
- 2 富谷、黒川地域、仙台市内の小学校卒業式の現状は
- 3 袴姿をする事の経済的な負担をどのように考えますか
- 4 P T A父兄の皆様へのアンケート等の調査をすべきと考えますが、見解は
- 5 今後どのようにあるべきと考えますか

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	5月28日(木)
受付時間	9:20

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市における空き家対策について

【質問要旨】－簡明に－

総務省の2023年の調査によると、居住目的のない空き家は全国で約385万戸に上り、その数は増加傾向にあるとしています。空き家対策が現状に追いついているかに関しては追いついていないと断言は難しく、空き家の数そのものは右肩上がりに増えており、日本では団塊の世代の持ち家率がとても高く、今後その相続が発生し、更に空き家が増えていく可能性が非常に高い。このため、行政は早急に対応しなければならないと指摘しています。

そうした住宅街に空き家が増えていくと、地域の活力を奪い人口減少にもつながります。そうするとますます店舗や公共交通の減少につながるという負のスパイラルが加速して、上下水道など社会基盤の更新や整備にも遅れが出てくることも想定されます。そうならないためにも空き家対策は本市にとって重要課題と思います。

以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の空き家の件数、管理不全空き家の状況及びその推移についてどのように把握し、どのような課題を認識しているのかお伺いします。
 - 2 本市は住宅団地の造成に伴い、昭和40年代後半から60年代に住宅を取得した世代が多いことから、今後、高齢化の進行に伴い空き家が集中して発生する可能性があります。本市としてどのような見通しを持っているのかお伺いします。
 - 3 行政が関与しにくい管理不全の放置空き家の増加に対し、今後どのように向き合っていくのかお伺いします。
 - 4 空き家対策は発生後の対応だけではなく、空き家を生まない予防対策が重要と考えますが本市の考えをお伺いします。
 - 5 ワンストップ相談体制の構築、相続・不動産の利活用を含めた相談窓口の整備が必要と思いますが、見解をお伺いします。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	5月28日(木)
受付時間	10:00

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 2 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 指定ごみ袋、供給に問題はないか

【質問要旨】－簡明に－

いま中東情勢の先行き不安等の理由から、自治体指定のごみ袋が全国的に品薄となっています。中東情勢の緊迫化によって、原油や石油化学原料・ナフサの供給が不安定になるとの懸念が広がり、「今後なくなるかもしれない」、「買えるうちに買っておこう」という心理から通常より大量購入する人が増え、一時的な品薄になっているケースが多いとの見方もあります。

製造メーカーは「生産自体は継続できている」と説明しているものの、実際には一部の自治体で指定ごみ袋が手に入りにくくなっており、緊急措置として指定以外のごみ袋での収集も始まりました。こうした緊急措置は2026年5月時点で静岡県浜松市など少なくとも30以上の自治体で実施されており、全国的に広がっています。本市でも4月時点で、一部小売店の店頭で品切れとなる状況が確認されました。市では「富谷市指定ごみ袋の品薄に関するお知らせ」と題し、当面の在庫は確保できるとする周知活動をホームページ上で行い市民の皆様へ冷静な行動を呼びかけましたが、その後も市民の皆様から今後の購入を不安視する問い合わせをいただいていますので、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 2026年5月末時点で、指定ごみ袋の購入に関する市民の方からの問い合わせはどのくらいきていますか。
- 2 2026年4月時点では「当面の在庫は確保できている」とされていましたが、それ以降、本市における指定ごみ袋の供給体制に問題はないですか。
- 3 今後、もし小売店での品切れが頻発するような事態になった場合、指定以外のごみ袋での収集も検討しますか。
- 4 今後、万が一、原料調達不可等の理由から指定ごみ袋以外のポリエチレン製のごみ袋もメーカーが一切製造できなくなった場合に備えて、本市ではどのような対応策を検討しますか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 農園型障害者雇用促進の提案

【質問要旨】－簡明に－

障害者雇用促進法に基づく「法定雇用率」は2024年4月より法定雇用率が2.5%に引き上げられていましたが、この度、2026年7月に2.7%へのさらなる引き上げが予定されていますが、本市職員の法定雇用率はどうなっているのでしょうか。

障害者の雇用や職場定着の困難さに直面した際、選択肢として考えておきたいのが「農園型障害者雇用」です。農園型障害者雇用は、農園を運営する民間企業から一定の区画を借り受け、採用した障害者の方を農園配属とすることで、そこでの農作業に従事していただき障害者の方の就労環境を整える農福連携の雇用モデルのことです。

私は2026年1月に、こうした農園型障害者雇用を行う、神奈川県「はーとふる農園」を政務活動で訪れました。障害者の方を雇用する企業にとっては採用ハードルが低くなり法定雇用率を達成しやすくなる一方、農作業は障害者の方にとってストレスが少ない作業で就労しやすい環境であり、収入の面でも一般的な就労継続支援より高い収入を得られる等、双方にメリットがあります。私は政務活動で得た知見を活かし、このような農園型障害者雇用を促進すべきとご提案申し上げ以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 令和8年6月1日現在、本市職員の障害者法定雇用率は。
- 2 雇用者・被雇用者双方にメリットがある「農園型障害者雇用」をぜひ促進すべきと考えますが、福祉部所管の観点から本市の見解は。
- 3 当該事業を行う民間企業から候補地選定の打診の有無と、その詳細は。
- 4 仮に候補地を選定する場合、どこを候補地として挙げるのが考えられますか。
- 5 一定期間市有地を無償提供するなどして積極的に事業者を誘致し、障害者の方の就労環境を市内に整備する考えはありますか。
- 6 農園の誘致に至った場合、障害者雇用のみならず、発達障害を理由に一般的な就労の継続に困難をきたしている方、および、引きこもりの状態にあったために一般的な就労に踏み出せないでいる方の雇用促進にも、その対象をぜひ拡大すべきと考えますが、本市の見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 英検・漢検・数検の受検支援を

【質問要旨】－簡明に－

今回は、子どもたちの英検・漢検・数検の受検支援を提案します。

近年では小中学校を団体受験の会場としたり、受験料補助を行ったりする自治体が増加しており、送迎をする保護者の負担軽減や受験率向上につながっています。

その点について富谷市の状況は現在どのようになっているか確認したいと思います。

現在、市内の受験希望者は仙台市若林区など遠方の会場での一般受験を余儀なくされ、保護者も送迎に片道約1時間を要するなど負担が大きくなってしまっていることが課題です。他の自治体を見てみますと、近い所では宮城県白石市で小中学生向けに「英検・漢検・数検」の受検支援事業を実施しており、市内小中学校を準会場として活用する他、検定料の半額を市が補助しています。以上のことから、本市でも市内に英検・漢検・数検の受験ができる会場を整備するとともに、受験料の補助を行う受検支援を提案し、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 コロナ禍以前に市内学校を会場とした資格試験の実施状況は。
 - ① 全ての小中学校で実施されていたのか
 - ② 英検・漢検・数検などの内訳は
 - ③ 学校の教員が試験当日の対応に当たっていたのか
- 2 令和8年度現在の市内小中学校での実施状況は。
- 3 遠方での受験を余儀なくされている子どもたちがいるという課題に鑑み、市内での受験会場を整備すべきと考えますが、見解は。
- 4 市内で会場を整備しようとする場合、実施会場として適当と思われる場所についての見解は。
 - ① 学校を会場として実施
 - ② 市長部局と連携し市役所庁舎内や各地域の市民センターを会場として実施
- 5 検定料補助については以前の一般質問で同僚議員からも提案されており、「調査検討を進める」と答弁されていますが、その後の調査検討結果は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	5月28日(木)
受付時間	11:34

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 県道仙台三本木線の今泉地区拡幅について伺う

【質問要旨】－簡明に－

今泉上中田から幕柳、塩釜吉岡線までの区間が県道に認定され、今日までに県による測量や側溝整備を進めてこられました。未だ全面拡幅整備には至っておりません。長年仙台市、富谷市広域行政推進協議会においても県に要望を続けており、それだけ仙台市、富谷市にとっても重要な路線であります。しかしながら県は、令和4年度に今泉地区内の拡幅改良を断念し、地元住民の意見を尊重し、県によるできる限りの拡幅整備等の実施を条件に、県道と市道を交換する方針が固められ、令和5年に地元説明会を開催され、令和6年度から設計協議を開始されておると聞かされております。拡幅改良工事の早期実施が急務と考え、これまでの経過とこれからの市の取り組みについて質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 県道仙台三本木線今泉地区の県道と市道の交換に至る経緯と時期について伺います。
- 2 県の今泉地区の2車線拡幅改良の断念に対し、地元の意見を踏まえ、県によるできる限りの拡幅等の実施を条件に、県道と市道の交換に応じる事とされたと聞いておりますが、県においてどの程度までの工事を行うのか伺います。
- 3 交換後の市道今泉線の拡幅改良工事の計画について説明を求めます。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 志戸田野田線の整備について伺う

【質問要旨】－簡明に－

志戸田地域の強い要望により、何度かこの件について議会で議論させていただき、入り口部分の有効幅員が狭く、自動車のすれ違いが困難であることを若生市長にも確認していただいております。担当課等を含めて検討させていただくとされており、事から次の質問をいたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 志戸田野田線の入り口の拡幅改良工事のこれまでの対応と、これからの対策について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	5月28日(木)
受付時間	13:54

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 病院立地の動きはいかに

【質問要旨】－簡明に－

令和7年9月1日、富谷市誘致病院事業者候補者が「学校法人東北医科薬科大学」に決定したことを受け、市長を本部長とする「富谷市病院立地推進本部」を設置し、第1回富谷市病院立地推進本部会議を開催しました。

昨年10月には、学校法人東北医科薬科大学と本市は「病院の開設及び運営に伴う基本的事項に関する覚書」を締結しております。

さらに、本年5月26日には「富谷市と学校法人東北医科薬科大学との病院の開設及び運営に関する基本協定締結式」が開催されたと報道されております。

以下、病院立地の動き等について、伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 誘致病院事業者への支援策に関すること。
- 2 新病院周辺の交通アクセス及びインフラ整備に関すること。
- 3 医療連携支援等プラットフォームの構築に関すること。
- 4 その他新病院の立地に必要な事項に関すること。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 総合計画・人口フレームの推進は

【質問要旨】－簡明に－

仙台市泉区の泉中央地区西側に広がる仙台徳洲会病院跡地周辺で住宅と商業用地・業務用地の大規模開発が、6月に始まると報道されています。

また、泉中央では区役所建て替えに伴う大型マンション建設など、住宅供給の構想があるとも伝えられています。

本市の第2次富谷市総合計画では、「本市においても少子高齢化が進行しておりますが、若い世代の転入促進を図ることを通じて人口増加を目指します」と将来人口・人口フレームで述べられています。

【質問項目】－列記－

- 1 今後、もっと積極的で、能動的な施策が必要ではないかと考えるが、その必要性についての見解を求めます。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	5月28日(木)
受付時間	14:09

一 般 質 問 通 告 書

令和8年5月28日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 5 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市が行う宣言及び協定締結の意義と実効性について

【質問要旨】－簡明に－

本市ではこれまで、「ネイチャーポジティブ宣言」や「イクボス宣言」を始め率先し各種の宣言や関係機関・民間事業者等との協定締結を数多く行っていることは素晴らしい取り組みとだと思います。

宣言は市としての重要な理念や方向性を市民をはじめ、市内外に示すことであり、協定は課題解決や市民サービス向上に向けた具体的な連携を進めるための重要な取り組みであると考えます。

しかしながら、市民や市職員の間では、その内容や目的、現在の取り組み状況について十分に認識されていないものもあるのではないかと感じています。

宣言や協定は、締結そのものが目的ではなく、市民生活の向上や地域課題の解決につながってこそ意味があると考えます。市民や職員に見える形での成果創出と情報発信が必要と思い、以下について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまで宣言した内容について伺います。
- 2 市が「宣言」を行うことの意義をどのように捉えているのか伺います。
- 3 宣言後、どのような方針のもとに予算化や事業展開を進めているのか伺います。
- 4 これまで行ってきた宣言について、成果や効果を検証しているのか伺います。
- 5 協定締結後の具体的な活用状況と、今後どのように市民へ周知し実効性を高めていくのか伺います。
- 6 市が宣言・協定締結した内容が市民や職員への周知が十分ではないと感じています。ホームページや新総合計画等への記載もないようですが、その認識を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 あけの平から大清水・上桜木地区の交通安全対策と道路整備

【質問要旨】－簡明に－

あけの平地区から大清水、上桜木地区にかけての市道は、近年、大型車両や自家用車の通行量が増加しており、特に上桜木地区では道路舗装の損傷や劣化が目立っています。

道路の亀裂、凸凹、ひび割れや破損、信号機などの安全設備、通学路や歩道の安全確保対策、横断歩道などの路面交通安全表示が見えにくくなっている場所も多くあり、市民の日常生活や安全な通行環境を確保するためにも、早急な道路改良整備を進める必要があると考えます。

また、富谷第二中学校付近の交差点については、通学時間帯を中心に交通量が非常に多く、車両と児童生徒が交錯する状況も見受けられます。

このような中で、大清水地区の子供会から、安全対策を求める要望書が提出されていると伺っています。

以上のことから、当該地区の幹線道路維持管理・改修計画、また、通学路の安全対策について市として現状をどのように認識し、また、今後どのような対策を考えているのかなど、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 あけの平から大清水、上桜木地区にかけての市道について、現在の交通量や交通環境を市ではどのように把握・分析しているのか伺います。
- 2 上桜木地区幹線道路の損傷や劣化等が目立っていますが、市として状況をどのように認識し、今後どのような対応をしていくのか伺います。
- 3 富谷第二中学校付近交差点に関して、要望書が提出されていますが、その内容と市としての対応策について伺います。
- 4 児童生徒の安全確保を最優先に体制強化を進める必要があると思いますが、その考えについて伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	5月28日(木)
受付時間	14:47

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月28日

富谷市議会

議長 畑山 和晴 殿

富谷市議会議員 13 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第6
2条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 とみぱすのさらなる利便性について

【質問要旨】－簡明に－

本市が実施している高齢者障がい者等外出支援乗車証「とみぱす」について、利用実態の把握と申請手続きの改善という観点から、制度のさらなる利便性向上を求め、以下の4点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 利用実態把握の方法について、どのように把握しているか伺います。
- 2 申請期間の拡充について、申請期間の拡充や申請会場の複数化など、利便性向上に向けた改善を検討すべきと考えますが、見解を伺います。
- 3 代理申請制度の導入について見解を伺います。
- 4 申請時の写真要件の見直しや簡略化を検討する考えはないか、見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 鳥獣被害防止電気柵等設置事業補助金の補助対象者の考
え方について

【質問要旨】－簡明に－

本市では、鳥獣被害防止電気柵等設置事業補助金の交付要綱第1条に基づき、「鳥獣による農作物への被害を防止する」ため電気柵等の設置に対する補助制度を実施しています。しかし、交付要綱第2条では補助対象者を「市内に住所を有する者」に限定しており、市外へ転居していても市内農地を継続的に耕作・管理し農作物被害防止に取り組んでいる方が補助を受けられないケースが生じています。制度本来の目的に照らし、以下の2点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 市外居住者が補助対象外となっている経緯について、伺います。
- 2 交付要綱第2条の住居要件について制度本来の目的に照らした運用の在り方の検討について、見解を伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	6月 1日 (月)
受付時間	9 : 24

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 6月 1日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 4 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 8年第 2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 事前防災と防災人材育成の強化を

【質問要旨】－簡明に－

本年3月に「富谷市国土強靱化地域計画（第2期）」が策定され、あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ取り組みが進められています。災害から命を守る体制づくりは喫緊の課題です。防災力をさらに強化するためには、本市の災害対応の強みと弱みを可視化することで、地域防災計画の実効性の向上へとつながると考えます。

本市の地域特性から、平時から大災害に対する「事前防災」の意識向上を図り、その普及に力を注ぐことが重要と考えます。例えば、木造住宅の耐震改修基準は、昭和56年以前から平成12年5月31日以前に建てられた建物へと新基準が定められました。しかしながら市民に対しての周知が不十分と思われます。また、家具類の転倒を防止するための安全対策の徹底など、自らの命を守るための災害に対する「備え」を促進すべきであると考えます。

また、大災害が起きたとき、市民が頼るのは行政です。東日本大震災を経験した職員も減少していること、さらに女性防災リーダーの育成など、平時から研修を恒常運用し、実践力向上を目指すべきと考え以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の災害対応における“強み”と“弱み”をどのように捉えていますか。
- 2 これまでの木造住宅耐震改修工事の実績についてお伺いします。
- 3 平成12年5月31日以前に建てられた木造住宅にお住まいの方へ、耐震改修のアプローチはどのようにされましたか。
- 4 家具の固定に対するアプローチはどのように進めますか。
- 5 災害から命を守るために、あらゆる「備え」が重要です。今後は「事前防災」の普及を強化すべきと考えますが、見解をお伺いします。
- 6 市の防災力向上にむけて、若い世代の職員や、女性の防災リーダーの育成を図るべきと考えますが、見解をお伺いします。
- 7 ライフラインが停止する大災害を想定し、全庁あげた避難訓練を実施すべきと考えますが、見解をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	6月 1日 (月)
受付時間	9:43

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 6 月 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 8 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 8 年第 2 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 子育て世帯の教育費負担軽減について

【質問要旨】－簡明に－

子どもたちにとって、小学校や中学校への入学は、新しい生活への期待に胸を膨らませる大きな節目であります。一方で、保護者にとっては、入学準備に多くの支出が集中する時期でもあります。加えて、近年は物価高騰の影響により、制服や学用品、スポーツ用品などの価格も上昇しています。子育て世帯からは、「兄弟姉妹の入学時期が重なると大変」、「必要なものが年々高くなっている」といった声も聞かれます。

本市においては、第3子以降を対象とした小学校入学祝金制度を設けていることは大変意義深いものであり、子育て世帯からも評価されているものと考えます。しかしながら、物価高騰や教育費負担の増加が続く現在、さらなる支援充実について検討する時期に来ているのではないのでしょうか。

子育て世帯への支援は、単なる経済的支援にとどまらず、「地域全体で子どもの成長を応援する」というメッセージになります。そしてそれは、第2次富谷市総合計画で掲げる基本目標3「次代を担う子どもたちをみんなで育むまち」の充実にも大きく寄与するものと考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の第3子以降小学校入学祝金支給事業について、制度開始以降の実績や保護者からの反響をどのように分析しているのか伺います。
- 2 近年の物価高騰による学用品・制服等の価格上昇について、本市としてどのように認識しているのか伺います。
- 3 第3子以降に限定している現行制度について、対象拡大や支給額見直しを検討する考えはないか伺います。
- 4 小学校だけでなく、中学校入学時における準備負担軽減についても、新たな支援制度の創設や既存制度拡充が必要ではと考えますが、見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	6月 1日 (月)
受付時間	10:05

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 6 月 1 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 12 番 浅野直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 8 年第 2 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野直子
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 今後の富谷市観光資源について

【質問要旨】－簡明に－

「ユートミヤ」が開館し、多くの来場者を迎え大変喜ばしい状況に、本市の魅力を更に発展させる環境が整えられたと考えます。

本市の決して広くない面積を有効活用できる観光ルートを整備することなど、今後に向けた観光資源の掘り起こしと活用についての考えを求めます。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の観光資源のパンフレット改訂版の作製について伺います
- 2 交流人口を増やすために観光周遊ルート作成と周知について伺います。
- 3 観光拠点をめぐる交通支援の取り組みについて伺います。
- 4 「とみやど」周辺の交流人口の推移と課題について伺います。
- 5 民俗ギャラリーの拡充などについて伺います。
- 6 今後の観光資源の掘り起こしと活用について伺います。
- 7 武道館等の市の施設を公設民営の宿泊施設としてリノベーションすることについて伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野直子
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 ギャンブル依存症について

【質問要旨】－簡明に－

ギャンブル依存症は、生活に問題が生じても止められず、自分をコントロールできない状態になります。特にオンラインカジノなどは、依存症に罹患するまで短期間で借金状態になり、最後は「闇バイト」などへ発展していくこともあります。

また、依存症になると人間関係が崩れ、家族の絆も失われ、人生がどん底に落ちてしまいます。しかし、ギャンブル依存症は適切な治療により回復できる病気であると共に、周囲の理解が必要です。

相談体制の強化や研修会なども開催し、理解を深める取り組みが必要と考え以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市におけるギャンブル依存症に関する相談数など現状について伺います。
- 2 依存症に悩む当事者や家族への支援について伺います。
- 3 保健福祉、教育、関係機関、重層的支援体制整備事業との連携について伺います。
- 4 オンラインカジノなどに対する予防啓発、予防教育も含めた取り組みについて伺います。
- 5 今後の早期発見・早期支援に向けた取り組みをどのように進めていくのか伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	6月1日(月)
受付時間	10:51

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 6月 1日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 10 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 道路標識、路面標示の早期改善を

【質問要旨】－簡明に－

富谷市内では、市民から「標識が錆びて読めない」、「停止線が消えて危ない」といった声が寄せられています。特に、平成元年頃に造成された明石台地区の団地では、標識の腐食や折れ曲がり、路面標示の消失が多く見られ、高齢者や児童の通学路では視認性の低下が事故リスクを高める深刻な状況となっています。

道路標識や路面標示は、その種類により管理主体が道路管理者と公安委員会に分かれていることから、「標識の劣化をどこに連絡すればよいのか分からない」、「警察に停止線の補修を要望したところ“富谷町が引いた線だ”と言われた」といった通報先の不明確さに関する声も寄せられています。

また、提出した要望書に回答がなく、行政区長が住民への説明に苦慮している事例もあります。

さらに、本市は新興住宅地が多く、造成時期が似ている地域では劣化が同時多発的に進む傾向があります。市民からの通報だけでは状況を網羅的に把握することは難しく、道路標識や路面標示は基本的な交通安全対策であることから、現状のままでは市民の安全と行政への信頼が損なわれかねません。

以上を踏まえ、以下について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 住民が標識の汚損・劣化や消えかけた停止線を見つけた場合、どこに連絡すればよいのか。市として明確に案内していますか。
 - 2 市が住民から要望を受けた際、公安委員会の所管事項が含まれる場合の取り扱いと、住民への説明方法について。
 - 3 公安委員会が管理する道路標識や路面標示の修繕を迅速に行ってもらうため、市としてどのような働きかけを行っているか。また改善の余地はありませんか。
 - 4 住民や行政区長からの要望書への回答状況と、遅延・未回答の改善策について。
 - 5 団地内を含む市内全域の道路標識や路面標示の総点検が必要と思いますが、実施する考えはありますか。
-

答弁を求める者 市長
